

経済産業大臣 様
 環境大臣 様
 兵庫県知事 様
 香美町長 様
 新温泉町長 様
 新温泉町議会議長 様

『(仮称)新温泉風力発電事業』計画を
 白紙に戻し、再構築を要望する署名

《要 望》

現在、新温泉町の近郊に、一基 4,500kW の出力を持つ 21 基の風力発電施設を設置する計画があります。この計画は、国内でも例をみない最大規模の風車を、住宅に非常に近い距離に設置するものです。

これに伴う大規模な設置工事や道路取付工事は、自然環境を劣化させ、住民の生活や健康、安心安全に重大な影響を与えかねません。

この風力発電計画について、自然環境が有する公益性に配慮し、地元住民の同意なしに保安林の解除や森林伐採の許可を出さないでください。また「健康面」「自然環境面」「防災面」に大きな課題のある現計画を白紙に戻すよう行政判断し、地域住民の健康と安全に配慮した、自然環境に優しい新たな計画を地域の同意を元に再構築するよう強く要請します。

『(仮称)新温泉風力発電事業計画』を白紙に戻し
 人と自然に優しい計画を再構築してください

氏 名	住 所

*ご協力いただいた個人情報(署名目的以外)には使用することはありません
 【呼びかけ団体】 新温泉町のちをつむぐ会代表 山地弘純・朝野友美・鎌田美由紀

※署名回収締め切り 2019年12月31日(火)

【署名送付先】 〒669-6804 兵庫県美方郡新温泉町熊谷1286 山地弘純
 電話 0796-92-1039



『一基 出力4,500kWの大型風車』が
 現計画通りに設置されたら…どうなる新温泉町？

騒音、低周波音による健康被害

①住宅や学校などに非常に近距離に設置される風車

【風車設置予定地域から住宅及び重要施設までの距離】
 (新温泉風力発電事業に係る環境影響評価方法書の記載より抜粋)

風車からの距離	住宅(戸)	学校	医療施設	福祉施設	合計
0~500m	0	0	0	0	0
500~1,000m	942	2	0	1	945
1,000~1,500m	160	0	0	1	161
1,500~2,000m	208	1	1	1	211
合 計	1,310	3	1	3	1,317

《500~1,000mにある施設名》

・夢ヶ丘中学校、温泉小学校、特別養護老人ホームゆむら
 (この中には個人医院などは含まれていない)

《1,000~1,500mにある施設名》

・特別養護老人ホームやすらぎの里

《1,500~2,000mにある施設名》

・浜坂東小学校、浜坂七釜病院、ゆめっこ認定こども園

《2,000~3,000mにある施設》

・浜坂南小学校、照来小学校、公立浜坂病院、介護老人保健施設 ささゆり、特別養護老人ホームはまさかの里、大庭認定こども園

②健康被害は1基あたりの出力規模が大きいほど、
 そして風車からの距離が近いほど発生！

◎論文：石竹(2018)風力発電施設による超低周波音・騒音の健康影響

日本衛生学会誌 73：298-304より引用・加筆

鹿児島県長島町に設置された一基あたり2,400kW、21基の風車の健康影響についての調査研究によると「風車との距離が近いほど、睡眠障害のリスクが高い」とする以下のような結果になっていました。

風車からの距離	居住人数	風車からの音が聞こえるという人	睡眠障害があるとされる人
0~500m	0人	0%	0%
500~1,000m	87人	63% (54人)	41% (35人)
1,000~1,500m	187人	44% (82人)	37% (69人)
1,500~2,000m	364人	29% (105人)	28% (101人)
2,000~5,000m	1,148人	7% (80人)	22% (252人)
5,000m以上	248人	2% (4人)	30% (74人)

※睡眠障害はWHO開発のアテネ不眠尺度を使用し、6点以上を睡眠障害と判断
 ※表に掲載された()の人数は、割合と居住人数から計算して記入

◎新温泉町に設置予定の風車、一基4,500kW(長島町の約1.8倍)

本町の計画では、2km以内に1310戸の住宅、7つの重要施設があり、3kmの範囲には、町の基幹医療施設である公立浜坂病院が含まれます。極めて近い距離に超大型の風車を21基建設することは、既往研究から推定しても大きな健康被害を否定できません。地域の大切な観光資源である湯村温泉に対しても、騒音が響くものと予想されます。

大規模開発による防災面や河川への影響

- 風車の設置対象地域には多くの「保安林」「砂防指定地」「山腹崩壊危険地区」「急傾斜地崩壊危険区域」が含まれています
- 風車設置工事はもちろん、計画案から独自に推定すると、取り付け道路建設は、少なくとも約10kmの延長、約50万m³の建設残土が発生すると予想されます。工事によって保安林を伐採し、山を削り、谷を埋め、水脈が破壊されかねません。大規模な開発工事は、斜面の崩落や土砂の流出をひきおこし、生活道路の分断や河川環境の劣化につながります。

生態系の劣化や鳥獣被害の拡大

- 風車の設置対象地域には希少価値のある動植物が多く生息し、生育しています。風車の建設によって、こうした動植物の住処が破壊され、動植物の生存が危ぶまれます。
- 農作物を荒らす鹿やイノシシ、サルなどの有害鳥獣が、風車によって山を追われ、取り付け道路が移動経路となり、民家近くに益々出没しやすくなります。今以上に、農作物被害が拡大する恐れがあります。

★現計画を白紙に戻し、人と自然に優しい計画へ★
 住民の声を町、町議会、兵庫県、国へ！
 みんなで再構築を働きかけましょう!!!

【署名呼びかけ団体】 “いのちをつむぐ会”

代表 山地弘純、朝野友美、鎌田美由紀